

「初めての實習」

愛知県立春日井高等特別支援学校 二年

伊藤 輝

僕は、印刷関係の会社へ實習に行きました。實習に行く前は、職場の方とコミュニケーションを取り、効率よく作業することを目標にしました。

實習に行く直前は、緊張やワクワク感で一杯でした。初日は、「鞍乗せ作業」と言う作業をしました。印刷された紙を束ねて整え、綴じる順番を間違えないようにレーンに乗せます。それらは、一枚ずつ重なっていき、パンフレットなどの冊子になります。紙をセットする向きを間違えると機械が停止してしまうので、間違えないように気を付けて作業しました。

二日目以降は、印刷し終わった紙束を発送するために、包装作業をしました。一番難しかったことは、包装紙の上に紙束を置く位置を、作業経験の中で理解することです。紙束を置く位置の憶測を誤ると、上手く包むことができません。包装紙の上に紙束を置いたときに、四方の幅を確認して中央に置くように注意をして作業しました。もう一つは、紙束がずれないように整え、紙束に空気が入らないように包装することが難しく、苦戦しました。職場の方から、「包装紙を引っ張りながら、紙束の角が出るようにしっかりと折っていくとよいよ。」

と教えていただきました。アドバイスのおかげで、職場の方の作業と比べるとまだまだ折り方が甘かったところがありました。最初るときよりは出来るようになったので、ほっとしました。

包装紙で包装する以外にも、袋詰め作業をしました。注文票どおりに、数を確認しながらパンフレットやチラシなどを袋詰めする作業でした。袋詰めの方法も、袋の折り方が何種類もあり、最初は理解が追いつきませんでした。しかし、職場の方が出来るようになるまで丁寧に教えてくださったので、徐々にパターンを覚えて出来るようになりました。

實習で学んだことは、働くことの厳しさです。印刷物の少しのずれや傷が入っているだけで、不良品になってしまい、お客様に製品が渡らなくなっ

てしまいます。お客様の信頼を大切にするためには、手を抜かず一生懸命仕事をする姿勢を忘れてはいけません。と感じました。

そして、もう一つ学んだことは働くことの楽しさです。大変な仕事の中でも、職場の方々は、笑顔で作業していました。仕事に誇りをもって作業されている姿を見て、自分もいつかこんな風に仕事をしていきたいなと思いました。

これからの学校生活の課題は、大変な時も気持ち前向きに切り替えて、出来るだけ笑顔でコミュニケーションをとることです。そして、任された仕事に責任をもち、自分の出来る仕事を増やしていくことを頑張っていけます。